



森下さち子 ニュース

【2011年8月号】
和歌山市鳴神1145の6 Tel (474) 6556
市議員団ホームページ <http://jcpwkym.sakura.ne.jp/>



《放射能問題・検査の実態は?》

県環境衛生研究センターを見学しました。

8月10日、県議団・市議団で県の環境衛生研究センター（和歌山市砂山）を訪ね、震災後問題になっている放射能の影響調査、実態についてのレクチャーを受けました。

センターでは、空気中の降下物、地上15メートル、地上1メートルそれぞれの空間放射線量と和歌山市の浄水場で作っている水の放射線量を定時測定しています。また、緊急調査として食肉についての検査も現在行っています。



説明・報告を聞く議員のみなさん↑

心配な放射能汚染

原発の放射能汚染が深刻になっている下で土壌、水、大気はもとより私たちが口にしている食物の汚染が懸念されています。

特にこれから成長する子どもたちは放射能の影響をより受けやすく、肉や魚、野菜のどれをとっても何をどのように食べたら良いのかという心配が高じるのは当然のことです。

検査体制は大丈夫?

センターの職員は原発事故以降、土日も当番制で検査にあたり、国が求める検査以外の食肉検査などは残業などでこなしているそうです。「大気、水、食品と次から次に起こる問題のなか、検査機器も人も時間も資金もすべて足りません。体制がなく職員に大きな負荷がかかっています」とセンター職員。

私たちは「測定ポイントが少ないのではないか」「内部被ばくの問題は」など住民の不安や疑問を質問するとともに、奮闘する職員を激励しました。

視察を終え、県行政だけではなく和歌山市としてこれからの環境のあり方についてどう責任を持ち関わっていくべきなのかを今一度問いかけていく必要性について考えさせられました。



暑いが続いています。いかがお過ごしでしょうか。この夏の暑さは湿気も手伝って蒸し暑さが倍増。おかげで体力を消耗した方も多かったのではないのでしょうか。

お盆も過ぎ、このニュースがみなさんの手元に届く頃は子どもたちの夏休みも終わりに近づいています。少しは涼しくなってくれると良いのですが。

9月に入ると、まもなく9月定例議会も始まります。継続している課題をはじめ、新たな課題にも旺盛に取り組む決意です。

県環境衛生研究センター

もともと、衛生研究所と公害技術センターに分かれていましたが、昭和58年の機構改革で統合し環境衛生研究センターとなりました。感染症や食中毒をはじめ、残留農薬、添加物という衛生研究部門と黄砂や化学物質、水質などの環境部門の2つを担っています。県内の放射能はここで測定されています。

測定結果などは下記ホームページで公開しています。

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/pref/g/031801/>

学童保育（若竹学級）に

エアコン設置

今年度予算に計上された学童保育（若竹学級）へのエアコン設置は夏休み前までには設置完了予定でしたが、震災の影響から資材の入荷が遅れており、より苛酷な暑さとなるプレハブ教室から順次設置するようになっていきます。

夏休みに入ってからやっとエアコン設置が始まったとの報告がありました。朝から夕方までの長い時間を過ごす子供たちにとって、エアコン設置は必須。少しでも快適な環境をと関係者、行政当局もがんばってつけていきます。



今後も引き続き、学童保育制度の充実に取り組めます。

ええっ？

ぶらくり丁に場外馬券売場？！

ぶらくり丁を含む本町地区は、2009年にもポートピア（場外券売場）の計画が住民の反対によって撤回されたばかりです。

7月にぶらくり丁商店街と本町地区自治会長を対象に開かれた説明会によると「発券機は12窓でミニ場外の規模。駐輪場は設置するが駐車場は近隣の施設を利用してもらう方が商店街への利益につながる」とのこと。

全国レベルで設置されているところを見ても地域振興という点では疑問が多いと聞きます。

ギャンブル場の設置についてはこれからの和歌山市の町づくりを進める上で大きな影響を及ぼします。

住みよい町づくりとは？市民本位の『あがらのまち』と胸を張れる町づくりとは？そのため議論を尽くす必要があるのではないのでしょうか。

はなないでしようか。



こんにちは。 ふじい健太郎です

お盆も過ぎ、暦は立秋を迎えています。残暑が長引きそうです。お体にはくれぐれもご用心を。

私は7月に入り2週間ほど「カゼ」で苦しみました。7月後半には体調も回復しました。原発からの撤退を求める署名としんぶん赤旗をもって地域訪問を続けています。

8月に入り休みをもらって「立山」に山の仲間と登ってきました。標高3000m級の山塊がならぶ北アルプスの西端に位置し、ケーブルやバスを利用して2400mの「室堂平」まで行くことができ登りやすい山でもあります。これから燃えるような「ななかまど」の紅葉が見られるなどシーズンは続きます。ご希望の方は都合がつけばご案内させていただきます。



また、夏は「平和」について考えさせられる季節でもあります。8月6日広島・9日長崎に原爆投下、15日は日本の15年にわたる侵略戦争と長年の韓国、朝鮮、台湾などへの植民地支配が終わった日で、今年で66周年となります。「A級戦犯は犯罪人ではない」などと66年たった今日でも、侵略戦争の美化と正当化を試みようとする歴史の逆流も後を絶ちません。「日本国憲法」を読み返しなが、平和と憲法を守るための不断の努力の必要性を痛感するこのごろです。

前県会議員 ふじい健太郎

第1回 わかやま住民要求研究集会

9月4日(日) マリーナシティのわかやま館

10:00~12:00 全体集会

(記念講演) 徳島大学教授 中嶋 信氏
「これからの地方自治のあり方を考える
—住民参加の町づくり—」

13:00~16:00 分科会

- 第1分科会 子育て・教育
- 第2分科会 医療・福祉・介護
- 第3分科会 産業・経済・町づくり
- 第4分科会 災害に強い町づくり

* * * * *

おつきく なあれ

森下さんちの
元哉くん
成長日記

我が息子、元哉の成長日記として、このコーナーを設けてきました。その元哉も今年10月で19才になります。私の議員としての生活は、子育てと共にあったと言っても過言ではありません。自分かネタになっていることを最初は嫌がっていた元哉もいつの間にか、自ら率先して読むようになりました。私の議員生活20年を節目に今月号をもちまして、この子育て日記を卒業することにしました。来月からは、私のつぶやき、ブログのようなコーナーとしてリニューアルいたします。これまで同様、ご愛読のほど、よろしくお願いいたします。これまでこの子育て日記を楽しみにして下さったみなさん、共に子どもたちの成長を喜んで下さったみなさん、本当にありがとうございました。